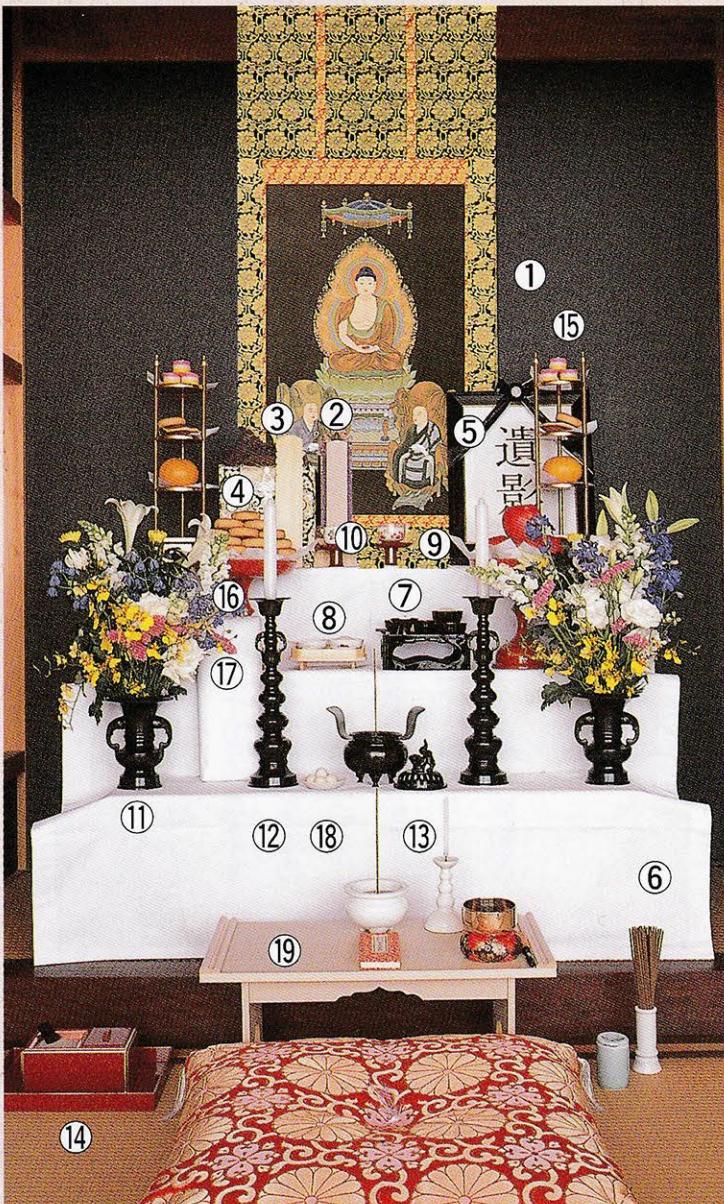


仕上げ法要・中陰壇飾り



⑥打敷……白布を用いますが、錦の打敷の裏を使うものではありません。表が白い布を敷きます。

①御本尊・掛け軸……十三仏掛け軸が一般的ですが、今日では曹洞三尊仏のお軸が普及しています。

②白木位牌……満中陰までお祀りし、ご納骨の時お墓へ持つてていきます。

③七日塔婆……七日毎にめくつておきます。

④遺骨……納骨まで祀つておきます。

⑤遺影……満中陰まで飾り、その後は黒リボンを除き鴨居等に置きます。

⑥打敷……白布を用いますが、錦の打敷の裏を使うものではありません。表が白い布を敷きます。

⑦靈供膳(本尊膳)……箸を御本尊側(向こう側)に向けて置きます。

⑧靈供膳(白木膳)……お茶湯茶碗(御本尊用)……毎朝、熱いお茶湯をさしあげましょう。

⑩お茶湯茶碗(新精靈用)……天目茶碗にはお水を御供えし、故人愛用の茶碗に熱いお茶湯をさしあげましょう。

⑪花立て……白か黄色を中心に、けばけばしい色や棘のある花はやめましょう。

⑫ろうそく立て……花立てでもろうそく立ても一般的にはそれぞれ一対ですが、一つずつの場合には、向かって右がろうそく、左が花で真ん中に香炉を置きます。

⑬香炉……線香が立つよう灰をきれいにしておきましょう。

⑭焼香盆……法要・看経の時に焼香します。お香と炭を用意しておきましょう。

⑮段盛り……上三段に果物・お菓子など御供えします。

⑯高杯……果物・饅頭などを盛りつけます。

⑰置布……白布を奉書で包んで、葬儀の時福田布と書いたもので、本来故人の形見の着物などを洗い晒してお布施にしたもののが名残です。

⑱供具団子……満中陰まで団子を毎日つづつ増やしていきます。

⑲経机……お勤めする経本を置く机です。打ちならし(リン)・線香入れ・マッチ消しなどを用意しましょう。